

「茶道を柱に書道、陶芸、畑仕事、ボランティアと活動中!」

元佐倉市職員

根本勝さん (67 歳)

平成 16 年 3 月定年退職

昭和 18 年千葉県生まれ、中央大学第二理工学部卒業。建設省関東地方建設局を経て、昭和 42 年佐倉市入所。都市計画課、公園緑地課、下水道課、都市部、市民部などを経て平成 16 年 3 月末退職。平成 16 年より 2 年間、印旛郡市広域市町村圏事務組合軽費老人ホーム所長。資格は 1 級土木施工管理技士、裏千家茶道・茶名授与、書道研究温知会・書道師範、小型船舶操縦士 1 級、スキー 1 級。



海外旅行で訪れたマチュピチュでの 1 枚。旅先でのフリースタイルに絵手紙を描いて家内に送ることもあります

——退職後のライフプランはいつ考えられましたか？

現役中から趣味をいくつか持っていたので、退職したら特にこれをやろうというプランは立てていませんでした。

ただし、収入面で多少の不安は持っていました。退職の 10 年くらい前から、定年までに住宅ローンの繰り上げ償還をして、借金をせず、贅沢もしないようにして共済貯金を殖やそうと考えました。とは言っても、生活を切り詰めるほど無理はしていません。

退職後、年金だけで退職前と同程度の生活をしたところ毎月 3 万～5 万円の赤字に。「やはり少し切り詰めない」と考えましたが、退職金や貯金の一部を取り崩して、10 年くらいはこのままで良いかと家内と決めました。「健康第一で過ごそう」と。幸い夫婦とも健康でいます。70 歳を過ぎたら、体調や子供との関係、生活費、医療費などを考慮して第二のライフプランを立てようと考えています。

——どんな趣味をお持ちなのですか？

20 代から始めた茶道のお稽古に今でも通っています。40 代で茶名を拝領し、自宅毎月 4 回、友人たちに茶道の指導をしています。地域の茶道会にも所属し、チャリティ茶会やイベントでの野点にも参加。毎年秋から半年間は児童センターで小学校低学年を対象に「チャレンジ茶

道」を月 1 回指導しています。

現役時代、茶室の掛け軸が読めるようになりたいと思い職場の書道部に入りました。退職後も OB 12 名で月 1 回、先生からご指導を受けています。作品はギャラリーの書作展と市の文化祭にも出展。その他、公設軽費老人ホームで毎月 1 回書道の指導もしています。

また、公民館主催の陶芸教室を通じて知り合った仲間と陶芸の自主サークルを続けています。公民館の陶芸窯が壊れて我が家に灯油窯を設置、皆で楽しく作品をほめたりけなしたりしています。

——退職後に始められたことはありますか？

送別会の時「畑で野菜などを作りたい」と話していたら、知人を通じて土地を貸してもらえらることになり、畑仕事を始めました。10 種類くらいの作物を作り



陶芸の自主サークル活動では公民館で陶土を成形し、わが家の窯で焼成します。時には、粘土に触らず、おしゃべりだけして帰るメンバーも

児童センターのチャレンジ茶道では、お雛祭りのお茶会をお友達や近隣のおじいさん、おばあさん70名ほどお招きして開催しています



●1日のスケジュール

7:30～9:30	起床・朝食・新聞を読んだりテレビを見たり
9:30～12:00	畑に行くか、1時間程度のウォーキング
12:00～13:00	昼食
13:00～16:00	特に決めていない。家内と買い物・家事をしたり、趣味の書道・陶芸・読書、畑に行ったり
16:00～18:00	新聞夕刊・雑誌を読む
18:00～19:00	ラジオ録音しておいた基礎英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを聞く（勉強するほどではないが毎回逃さずに聞いている）
19:00～20:00	夕食
20:00～23:30	入浴や団欒、テレビを見るなどリラックスタイム
24:00～24:30	就寝

●1週間のスケジュール

木曜日 14:00～16:00 18:30～21:00	社交ダンス 公民館で陶芸
土曜日	先生のお宅で茶道の稽古
日曜日	自宅で茶道の指導

※その他の曜日は、ほとんど1日のスケジュールの通り
※ほぼ月に一度のペース……書道の稽古、老人ホームで書道の指導のボランティア、児童センターで茶道の指導のボランティア

野菜類はほとんど自給自足。周辺の耕作者とも仲良くなり、苗や収穫物を譲り合っています。畑の作業は自分次第が元気を分けてくれます。

また、年1回はパッキングで世界の文化遺産を観光しています。家内は海外旅行があまり好きではないので一人で参加しますが、色々な参加者たちとの会話が花が咲きあつという間に旅は終わります。友人と行くよりのびのびと気兼ねなく、

楽しいですよ。年に1度は夫婦で小旅行もしています。

最近始めたのは社交ダンスです。足腰も強くなるし、リズムに合わせて動くのでボケ防止に最適だと思っています。

——今後チャレンジしてみたいことはありますか？

JICAのシニア海外ボランティアに参加したいのですが、土木建築部門で私が希望する職種の募集がありません。でも、茶道の指導（日本の文化）でチャレンジしようかとまだ諦めていません。

——最後に現役世代へのメッセージをお願いします。

現役の方々からしばしば「忙しくて何にもできない」とのつぶやき（ぼやき）が聞こえてきます。しかし、「忙中閑あり」です。自分の時間を上手に作って



職場のOBの仲間と書道の指導を受けている様子

ださい。手始めに興味のある事柄の本を手にとってみてはどうでしょう。テレビを見ながらでもいいので、色々な本を見て面白そうなら深読みしてください。きっと現役中や定年後役立つと思います。

人それぞれですから、スポーツ系でも文化系でも良いじゃないですか。ぜひ一生続けられる趣味を見つけてください。

それから、中間管理職になったら茶道の門を叩くことをお勧めします。私は正座してお点前をする時は、禅と同じで無心になるようにと稽古を続けています。

季節を大切に、満足をしてもらえような「おもてなしの心」や、非常時にぶれない確かな「決断力」が養われます。仕事中でもきつと役立つ時が来ると思いますよ。